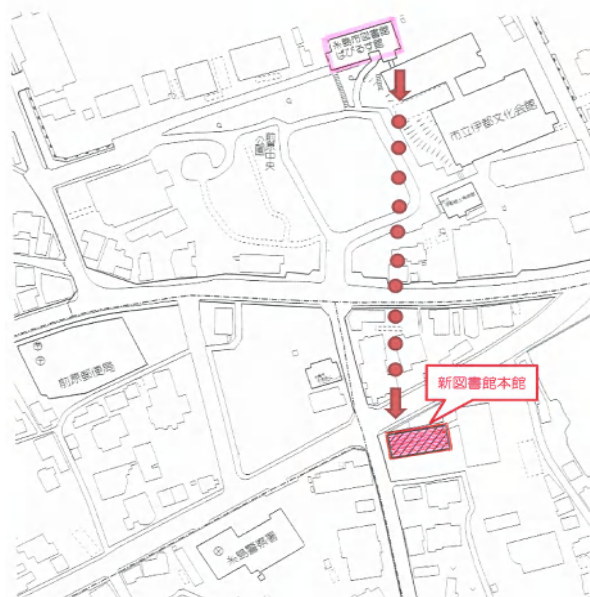


## 新図書館が7月に開館

手狭だった伊都文化会館横の“ぱぴるす館”が九電跡地に移転し、“糸島市図書館本館”として7月4日に開館します。二文館、志摩館も7月以降に敷地内で移転し、リニューアルオープンします。

これにより3館合わせた延床面積は2,296㎡から3,501㎡と1.52倍に。開架冊数も18万4千冊から21万冊と1.14倍になり、今よりゆっくりと本を愉しめるようになります。

特に“糸島市図書館本館”は  
1階：市の図書館サービスの中核として。  
2階：子どもの空間として“おはなしの部屋”や寝ころびコーナーを設置。  
3階：知識を深める空間として、学習室34席を配置するなど、ニーズに合わせた配置になっています。



### ※移転ともなう休館の注意

現在の図書館“ぱぴるす館”は4月30日で閉館となります。“糸島市図書館本館”がオープンする7月4日までは移転作業のため休館となりますのでご注意ください。その間は、二文館・志摩館をご利用下さい。

## ご意見を頂き、誠にありがとうございました。

前回配布の“伊都国21”に、ご意見を頂くハガキを載せておりましたところ、多くの方からご返信を頂き、心より感謝申し上げます。



- 行政区への加入の問題。 • 母子家庭の悩み。
- 広い公園や安心して歩ける歩道が少ない。
- 総合病院や学校、企業の誘致。 • 堆肥の悪臭問題。
- 老老介護や医療費の抑制策。
- 地産地消の拡大や観光振興策 etc

今まで見落としていた課題や問題点など、今後の活動のヒントとなる多くの示唆を頂きました。

議会として早急に“市民の方との意見交換会”の開催や“議会への手紙”など、市民の皆さんの想いを聴く機会を作る必要性を強く感じました。

# 伊都国 21

糸島市波多江駅北 3-21-18  
電話 332-9118  
<http://mishima-hideyuki.jp>

三嶋ひでゆき



糸島市議会議員

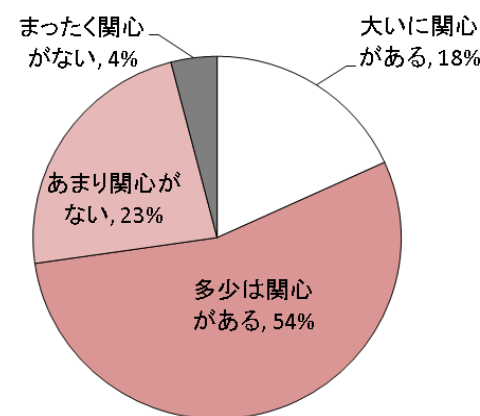
## 『議会の活動に関するアンケート調査』の実施結果

議会では、昨年11月に市民の方を無作為に抽出し『議会の活動に関するアンケート調査』を実施しました。集計結果が出ましたので質問の対する回答のいくつかをご紹介します。

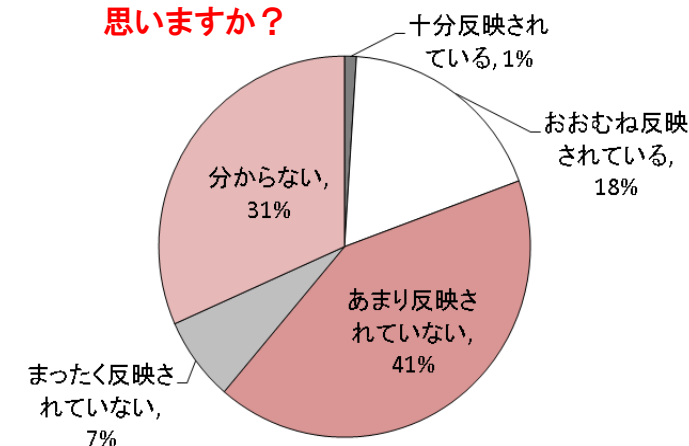
### 有効回答率

アンケート用紙を2,000部送付したにも関わらず、有効回答数は541件。有効回答率が27.1%しか無いことを考えますと、議会・議員に対する関心の薄さを感じます。

### 問：市議会に関心がありますか？



### 問：市民の意見が議会に反映されていると思いますか？



### 問：議員に何を望みますか？（複数回答可）

質問項目	回答数
市民の声を市政に反映させる取り組み	378
議員の資質の向上	261
定期的な報告活動	216
市政のチェック機能	170
その他	124

議会に対して関心がある方が“大いに”と“多少は”を合わせて72%あるのに対し、市民の意見が反映されていると感じておられる方が“十分”と“おおむね”合わせても19%しか無く、関心の高さと現実とのギャップを感じます。

問：議員の活動内容について知っていますか？ との質問でも“知っている”と答えた方は31%に過ぎません。問：議会を傍聴したり、インターネット中継を見たことがありますか？ との質問でも、約8割の方が“一度も無い”と答えています。

問:議会を活性化するために、特に力を入れて欲しい事は何ですか？(複数回答可)

質問項目	回答数
議会や議員の活動情報の積極的な提供・公開	326
市民が議会や議員に意見を述べられる機会の提供	275
行政に対する監視やチェックの強化	186
議員による政策の立案や条例の提案	106
休日や夜間の議会の開催	34
その他	45

市民の皆さんからすれば、「顔を見せるのは選挙の時だけ」「議員が何をしてるのかわからない」では、自分達の代表として“誰を選んでいいのか分からない”思われるのは当然だと思います。

アンケートの結果を見ますと、市民の方は議会・議員に対し

- ①多くの市民の声に耳を傾ける努力をし。→ ②議員同士で徹底的に議論を尽くし。→ ③市に対し積極的に提言を行い。→ ④その過程を市民に分かりやすく伝える。という「議員として当たり前のことマメにしろ！」とされているだけです。

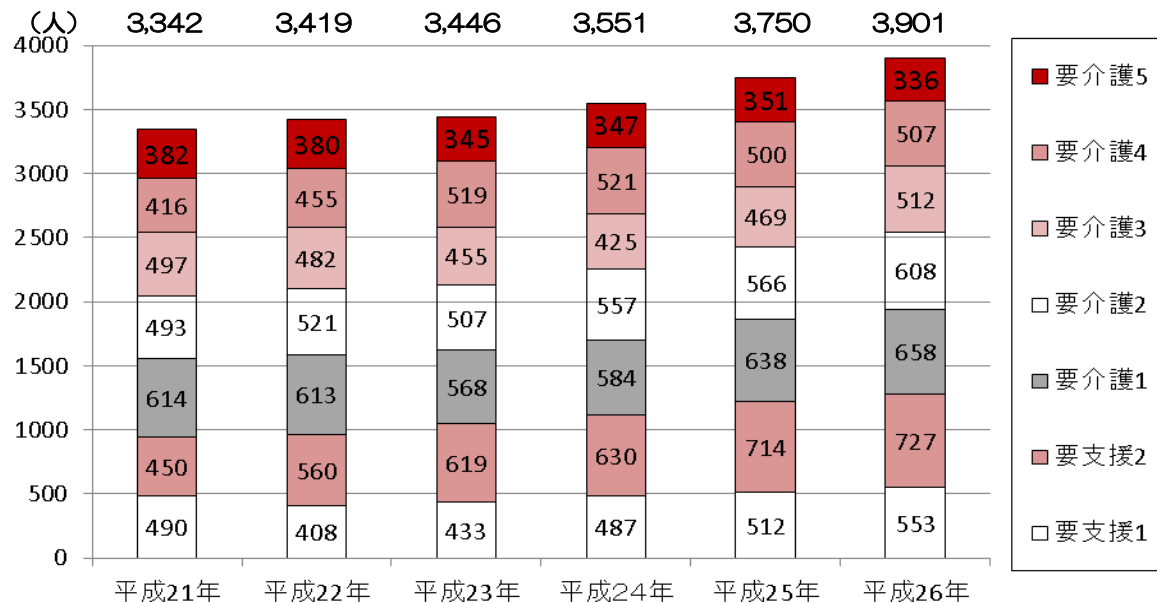
今のままでは『議員数や報酬をもっと減らせ』と言われかねません。今後も『しっかりと働く議会』に向けて、全力で取り組んでまいります。

## 平成27年度予算が決定。

3月議会が終わり、平成27年度の糸島市当初予算が決定しました。一般会計(333億円)、国保などの特別会計(242億円)、上下水道の企業会計(75億円)を合わせた予算総額は649億円と、昨年6月の予算補正後予算と比較すると38億円の大幅の伸びとなっています。

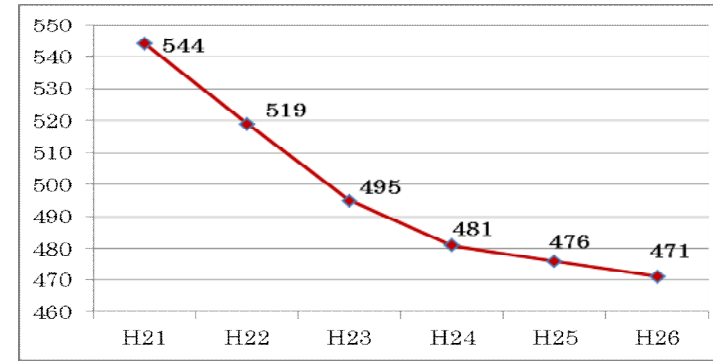
借金である市債残高は、合併前の平成21年決算額:375億円から304億円に。貯金にあたる基金残高は、平成21年の39億円から75億円にと、市の財政状況は年々良くなっていますが課題も多くあります。

要介護 度数別認定者数の推移



人口・税収が伸び悩む中、児童手当や医療福祉費などの扶助費は毎年増えており、高齢化が進めばさらに増加する見込みです。

職員数の推移グラフ(単位:人)



市も合併前に比べ、職員数を73人削減するなど経費縮小に取り組んでいますが、これも限界があります。

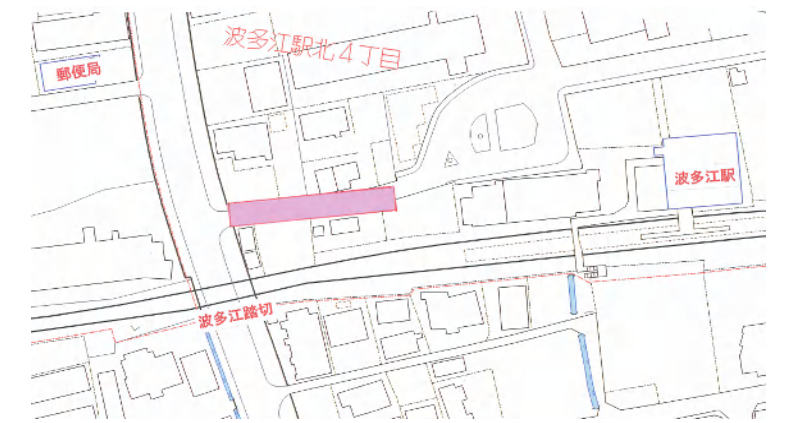
若年層の人口確保も大切ですが、高齢者の皆さんの『健康づくり・生き甲斐づくり』はとても大切と考えておりますので、健康づくりに力を注ぐように市に働きかけていきます。

## ●波多江駅前線の拡張が決定。

波多江踏切のすぐ近くで、離合するのも大変だった県道から波多江駅に向かう道路の拡張工事が、27年度に行われることになりました。

建物が建て込んでいて十分な幅員が確保出来ませんが、今より歩行者の安全性も向上することと思います。

曲がりくねってアップダウンが多い、駅南側からの自由通路についても検討を重ねており、用地交渉などが上手く行けば数年後には自由通路の架け替えが実現出来そうです。



## ●小、中学校教室にエアコン設置。

近年の猛暑や黄砂、PM2.5に対応するために、平成27度と28年度に全小中学校の普通教室(計:397教室)にエアコンを設置することが決定しました。現在、天井に扇風機を設置していますが、風の影響で教科書がめくれる、風が満遍なく回らないなどの問題点があります。“エアコンなんてもったいない”との声もありますが、35度を越す猛暑日も増えています。これで勉強に集中出来て学力が向上すればなりよりですが。

## ●今年から中学校1年生が35人以下学級へ。

中1ギャップ(\*異なった小学校から集まることによる人間関係の再編。先輩・後輩という関係の出現など)を少しでも埋め、ひとり一人に目が行き届くように1学級の生徒数を35人以下とするため、市が給与を負担して教員を配置します。

また、保護者の帰宅時間に対応するため、小学校の『放課後児童クラブ』の開所時間を午後6時から午後7時に。対象者も、小3年から小6年までに拡大されます。